



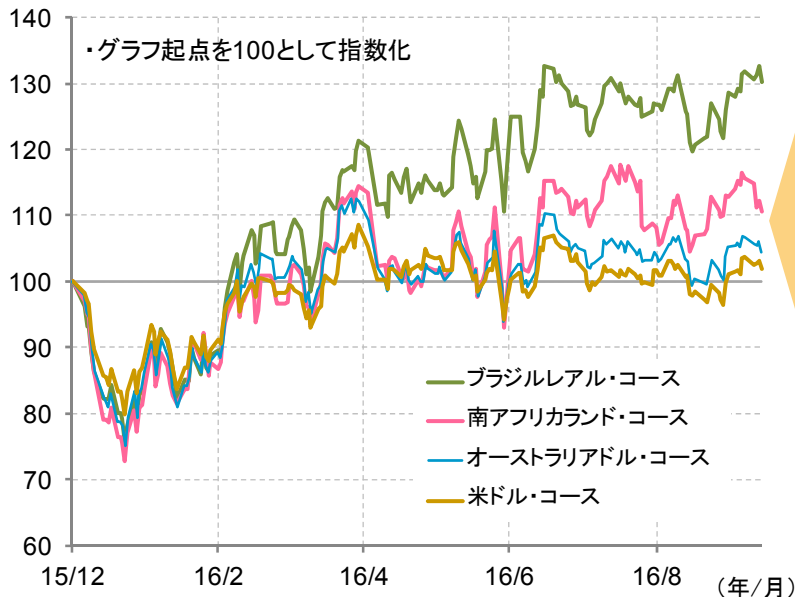
資源株ファンド 通貨選択シリーズ
 <ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>
 (毎月分配型)

**市況改善とともに力強い業績拡大が
期待される資源株**

- 2016年に入り、原油価格が需給改善期待を背景に上昇基調に転じていることが、資源株および資源国通貨の押し上げ要因となっています。足元では、9月28日のOPEC(石油輸出国機構)臨時総会で、予想外の減産合意に至ったことから、原油価格は急反発をみせており、今後の持続的な市況改善が期待されます。
- 本レポートでは、業績改善が期待される資源株について、今後の見通しや運用者によるコメントなどをご紹介いたします。

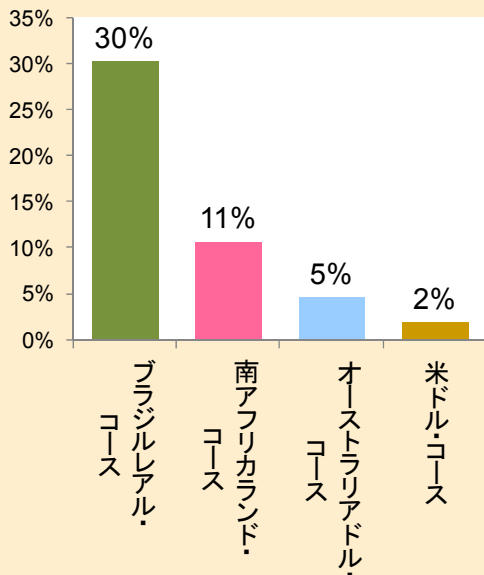
原油価格の上昇とともに反発を強める資源株

<各コースの基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移>
(2015年12月30日～2016年10月14日)



<年初来騰落率>

(2015年12月30日～2016年10月14日)



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

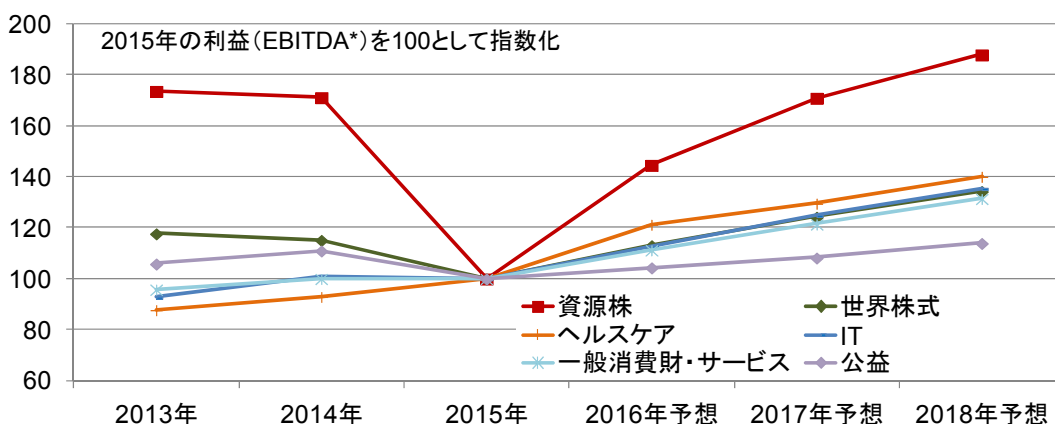
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

業績の急回復が期待される資源株

■ 資源関連企業の業績は急回復する見通し

資源関連企業は、2014年以降、原油価格の急落などの影響を受け、世界株式の主なセクターと比べて業績が大きく悪化しました。しかし、厳しい市場環境を乗り越えるため、資源メジャーを中心に、これまで財務基盤の強化や効率化を推し進めており、業績回復・拡大ペースがより高まると期待されます。原油価格の中長期的な上昇が見込まれるなか、資源株は、世界株式や他セクターを大きく上回るペースで業績拡大が期待されます。

＜資源株と世界株式の主なセクターの利益推移＞
(2013年～2018年予想)



*EBITDA: 利払前・税引前・償却前利益

予想は2016年9月末時点のコンセンサス予想

資源株: S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数

世界株式と主なセクター: MSCI ACワールド指数およびそのセクター指数

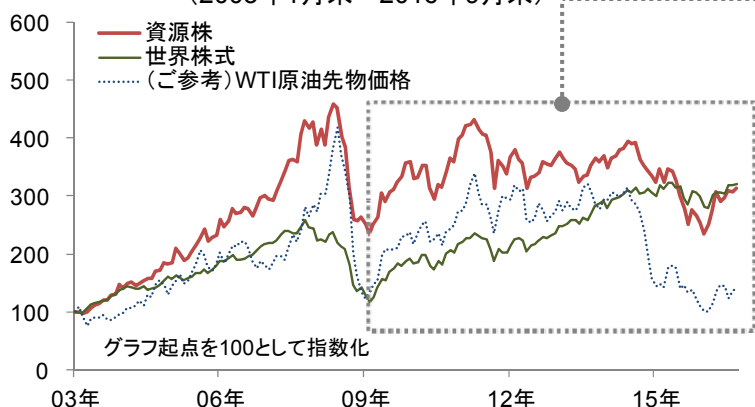
※ 上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

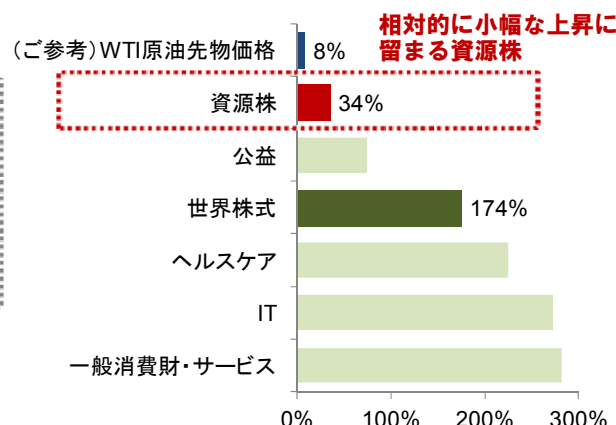
■ 出遅れ感がみられる資源株

資源株は、リーマン・ショック後の騰落率を世界株式の主なセクターと比べると出遅れ感がみられました。しかし、市況回復とともに業績の急回復が見込まれるなか、再び投資家の注目を集めると期待されます。

＜資源株と世界株式の推移(米ドルベース)＞
(2003年1月末～2016年9月末)



＜世界株式と主なセクターの株価騰落率＞
(2009年2月末～2016年9月末)



相対的に小幅な上昇に留まる資源株

資源株: S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数(トータル・リターン)
世界株式と主なセクター: MSCI ACワールド指数(トータル・リターン)およびそのセクター指数
※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント ～今後の見通しについて～

【OPEC臨時総会の減産合意は原油価格にプラスに働く】

- 9月28日に行なわれたOPECの臨時総会では、OPEC加盟国の原油生産量の水準を「日量3,250万バレルから3,300万バレルの範囲内に収める」方針で合意しました。今回の合意に加え、サウジアラビアとイランの関係改善がみられたことや、サウジアラビアが現在の原油市場が持続可能な状態にないことを認めたことは、原油需給にプラスに働くと考えられます。
- 一方で、加盟国別の生産調整量の設定はされておらず、今回の合意を実際に遵守できるかどうかについて、市場では懐疑的にみられています。また、加盟国の減産を受け、原油価格が上昇すれば、米国において、シェール生産者による生産コストが相対的に高い油田での掘削活動が再開され、供給量の増加につながって、原油価格の上昇を抑制する可能性があります。
- ただし、こうしたマイナスの要因を考慮しても、今回の合意は、総合的に原油価格にプラスに働くとみています。実際に、足元では原油価格や資源株に反発がみられました。今後は、各加盟国がどの程度厳格に生産量水準を遵守するかどうかを注視する必要があると考えており、11月末に開催される予定のOPECの次期総会で今回の減産計画についてどのような詳細が明らかになるか、注目しています。

【今後の注目点：米国の原油在庫動向と大統領選挙】

- 供給面では、米国の原油在庫の動向に注目しています。米国では通常、原油精製施設のメンテナンスシーズンに入る9月頃は、原油在庫は積み上がる傾向にあります。しかしながら、今年の9月は、原油在庫の著しい減少がみられました。この背景には、メキシコ湾での暴風雨に伴ない供給障害に陥ったという一時的な要因もあるとみられます。ただし、メンテナンスなどの季節的要因に関わらず原油在庫の減少が今後も続くようであれば、原油価格にプラスに働くと考えられます。
- 米大統領選挙の結果は、米エネルギー市場に少なからず影響を及ぼすと考えられます。クリントン氏が勝利した場合、エネルギー業界に対する規制強化の環境が続くとみられることは懸念材料と言えます。一方で、米原油供給の抑制圧力にもなるとみられ、結果として原油価格の押し上げにつながる可能性も考えられます。トランプ氏が勝利した場合は、短期的には市場で警戒感が拡がる可能性があるものの、同氏は規制緩和などを通じ、エネルギー関連企業のビジネスを後押しするとみられます。

【原油価格の大幅な上昇がなくとも期待される業績改善】

- 10月下旬頃から本格化する資源関連企業の2016年7-9月期の決算発表では、前期と同じく、収益性の改善が焦点になるとみています。資源関連企業のうち、石油生産会社の多くは、7-9月期は原油価格の水準が前期をやや下回ったこともあり、キャッシュフローがマイナスになると見込まれるものの、生産性の向上に伴うコスト低下により、決算は市場予想をやや上回ることが期待されます。
- 資源関連企業の中でも、川上に属する石油生産会社は、生産性の向上に伴うコスト低下が特に期待されます。今後も、コスト低下により収益マージンの改善が進めば、原油価格の大幅な上昇がなくとも、多くの石油生産会社の業績は改善すると考えられます。また、こうした改善が実現すれば、石油生産会社の株価バリュエーションは現状に比べて非常に魅力的な水準になると期待されます。

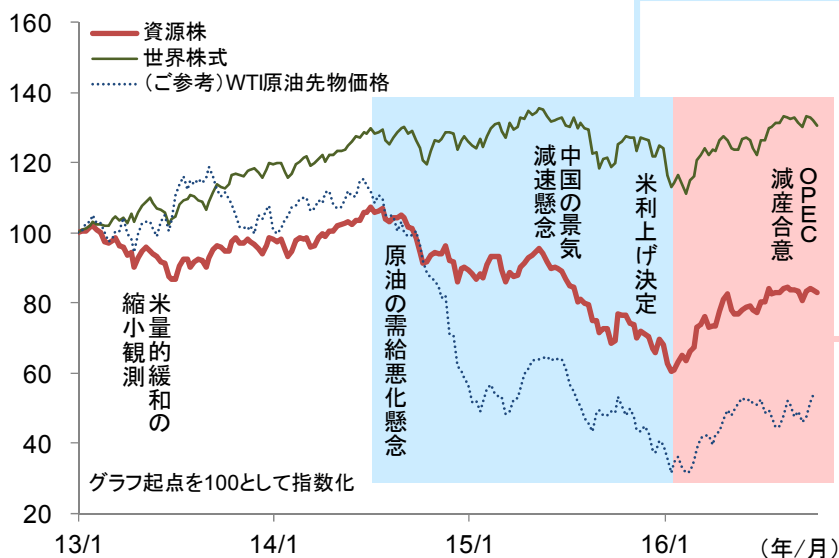
※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(ご参考) 足元の資源株の動向

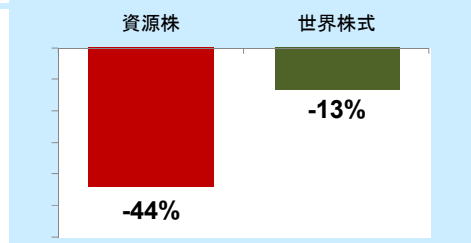
■ 2014年半ば以降、資源株は原油安とともに軟調な推移となったものの、足元では大きく反発しています。

＜資源株と世界株式の推移(米ドルベース)＞
(2013年1月第1週末～2016年10月第2週末)

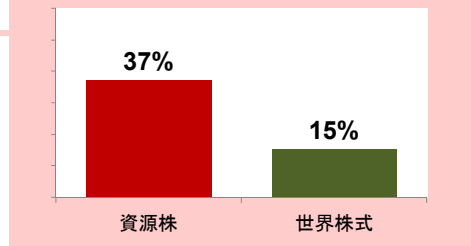


＜期間別騰落率＞

(2014年7月第1週末～2016年1月第2週末)



(2016年1月第2週末～2016年10月第2週末)



2016年の資源株と世界株式の主なセクターの月間騰落率(米ドルベース)

■ 2016年の月間騰落率では、資源株が相場をけん引する力強い上昇をみせる場面もありました。

		資源株 9.8%			IT 7.9%				* 一般消費財・サービス
		IT 9.3%			一般消費財* 6.4%				IT 2.8%
		公益 8.2%	資源株 11.2%		ヘルスケア 4.6%				資源株 2.2%
		世界株式 7.5%	ヘルスケア 3.2%	IT 4.4%	公益 5.3%	資源株 4.5%			世界株式 0.7%
		一般消費財* 7.3%	世界株式 1.5%	ヘルスケア 1.4%	資源株 2.1%	世界株式 4.3%	IT 2.5%		公益 0.6%
	公益 0.9%	資源株 7.2%	ヘルスケア 2.7%	一般消費財* 0.0%	世界株式 0.2%	ヘルスケア 0.9%	公益 1.0%	世界株式 0.4%	一般消費財* 0.4%
	IT -5.9%	公益 -0.3%		公益 -0.4%	公益 -0.4%	世界株式 -0.6%		一般消費財* -0.2%	ヘルスケア -0.1%
	世界株式 -6.0%	世界株式 -0.6%		IT -4.1%	一般消費財* -0.5%	IT -1.7%		資源株 -0.7%	
	一般消費財* -6.4%	一般消費財* -0.7%			資源株 -5.8%	一般消費財* -3.1%		ヘルスケア -4.0%	
	資源株 -7.1%	IT -1.2%						公益 -4.5%	
	ヘルスケア -7.8%	ヘルスケア -1.2%							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月

資源株: S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数(トータル・リターン)

世界株式と主なセクター: MSCI ACワールド指数(トータル・リターン)およびそのセクター指数

※ 上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

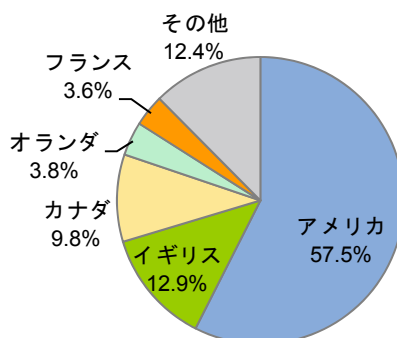
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2016年9月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	50.7%
素材	45.4%
不動産	2.2%

国別株式組入比率



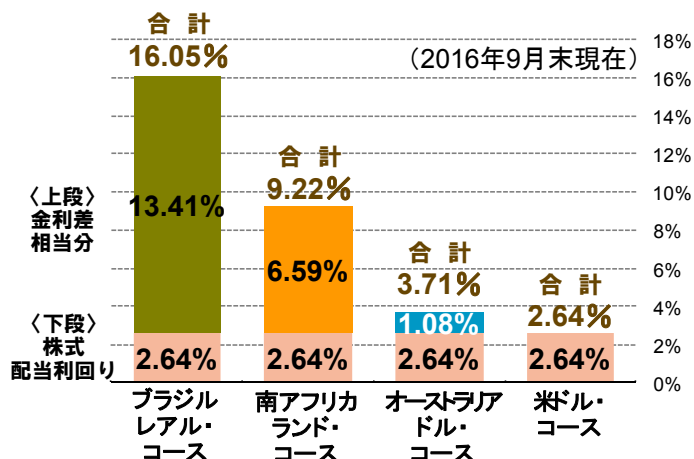
株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHPピリトン	イギリス	素材	5.54%
2	ロイヤル・ダッチ/シェル	オランダ	エネルギー	3.80%
3	モンサント	アメリカ	素材	3.73%
4	トタル	フランス	エネルギー	3.57%
5	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.48%
6	リオ・テイント	イギリス	素材	3.45%
7	インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	2.95%
8	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	2.69%
9	BP	イギリス	エネルギー	2.59%
10	シェブロン	アメリカ	エネルギー	2.53%

【銘柄数：70銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分：ブラジルリアル短期金利（1ヵ月国債利回り）、南アフリカランド短期金利（ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月）、オーストラリアドル短期金利（1ヵ月物銀行手形金利）から、それぞれ米ドル金利（1ヵ月LIBOR）を差し引いて算出。
株式配当利回り：「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それをを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

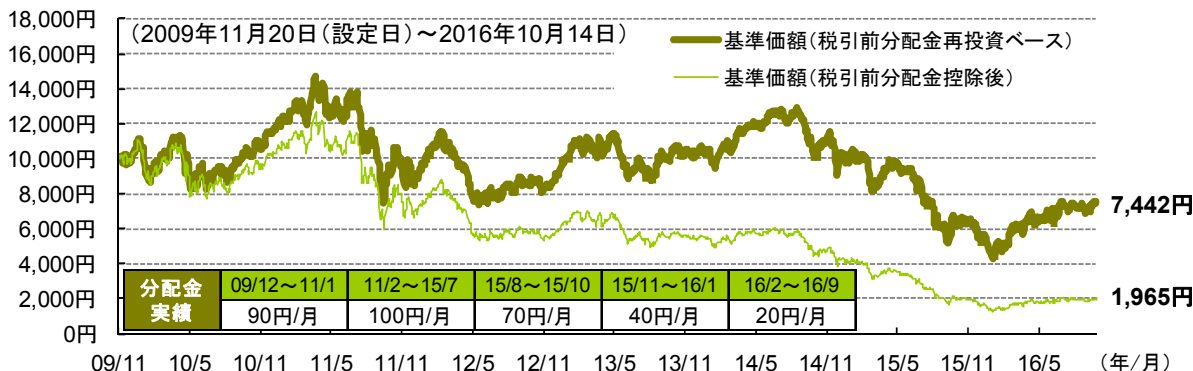
日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

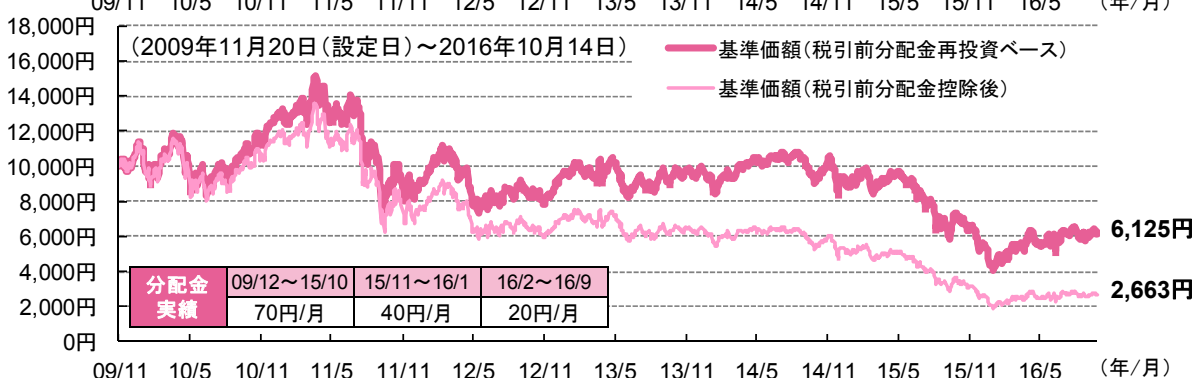
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

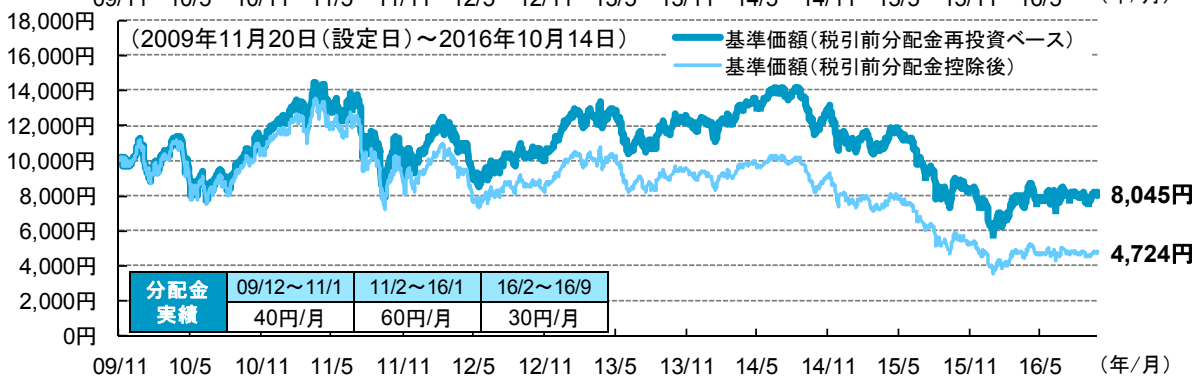
ブラジル リアル・ コース



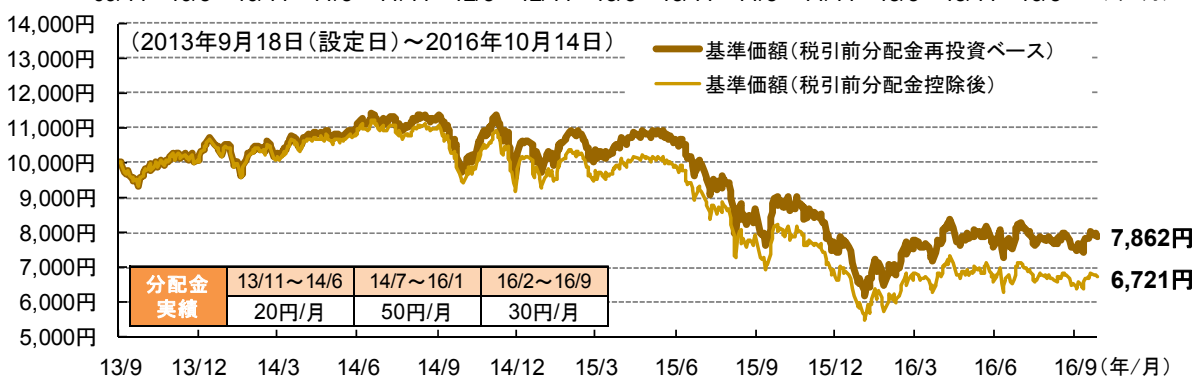
南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



米ドル・ コース



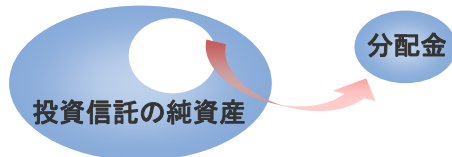
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様にご「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

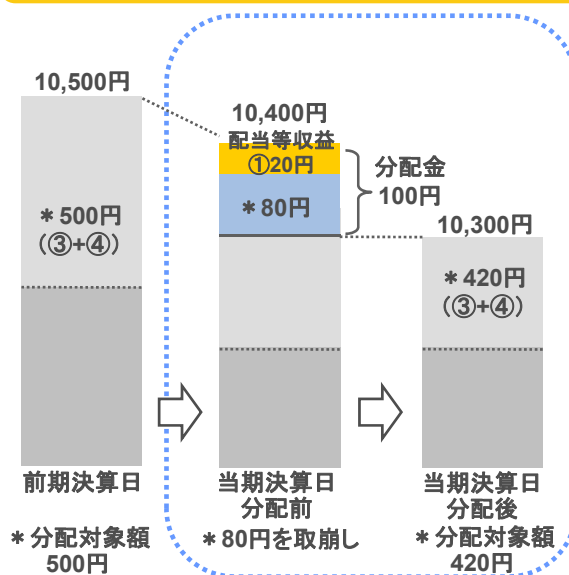
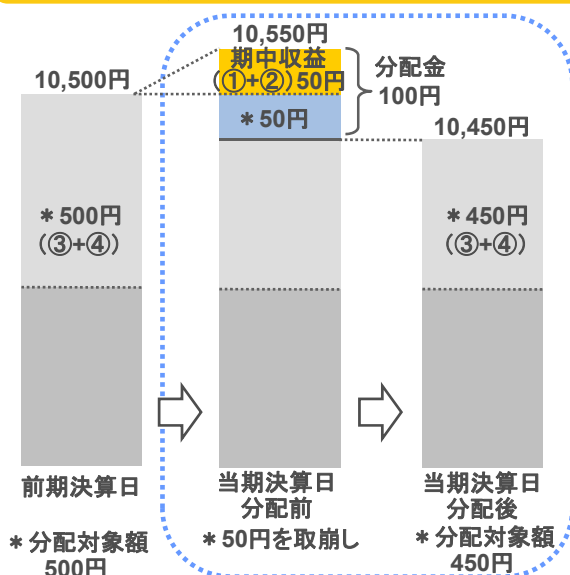


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

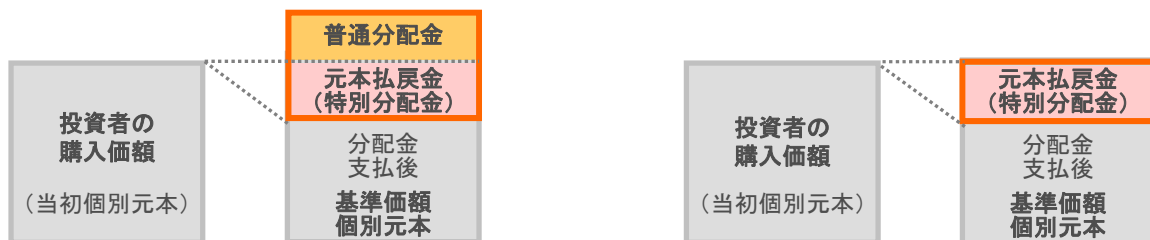


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

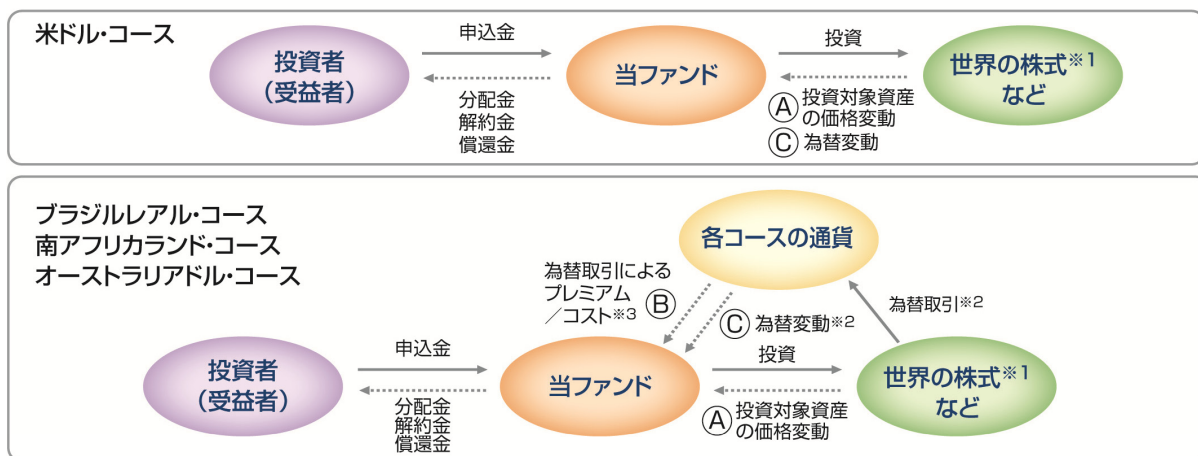
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		為替ヘッジを行なわないのでありません。		為替差益の発生 原資産通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*			為替差損の発生 原資産通貨に対して 円高	
収益の源泉		=	(A) 株価の値上がり/値下がり	+	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース		株価の上昇*		プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が プラス		為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース		株価の下落*		コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 - 米ドル金利が マイナス		為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様は帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身で判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(50音順、資料作成日現在)

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用 【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。